

文 華

ぶんか



「偃武修文」

辻 敬齋

令和八年 五月二十五日 印刷
令和八年 六月一日 発行
毎月一回 一日発行 (文華) 第七十三巻 第六号

書道研究

真弓書道會事務所発行

6

2026
(865号)

第七十三回 真弓書道展

● 役員作品 ●

- ☆ 一般部・学生部審査員
- ◎ 一般部審査員
- 学生部審査員

（とき／令和八年三月二十八日(土)～三十一日(火)
ところ／水戸内原イオン2F「イオンホール」）

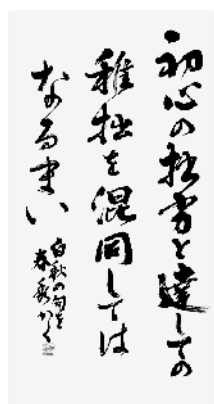
☆辻 敬齋



☆北見 清園



☆石井 春秀



☆今橋 知鄒



参議院議員
加藤明良賞

小古瀬修山



川上清亭賞

大江 桂風

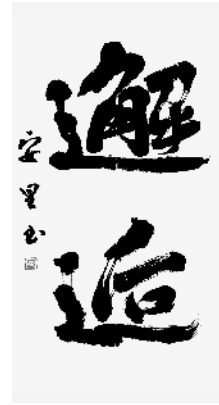
茨城新聞社賞

小林 瑞幸



敬仁文會賞

山田 安里



奨励賞



渡部 翔風

奨励賞

塩原 正裕



○中山 白堂



○桑原 令慧



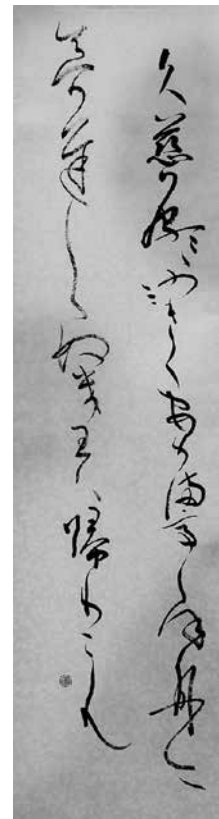
○岩田 紀風



○辻 いづみ



○佐藤 祥玉



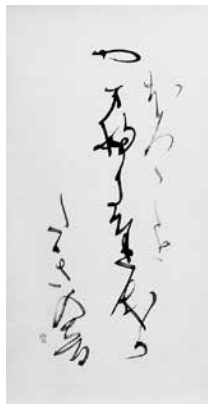
○豊崎 峰彩



○岡山 素洞



○竹内 一



○川口 麗洋



☆八文字聖媛



江幡 鋳卿



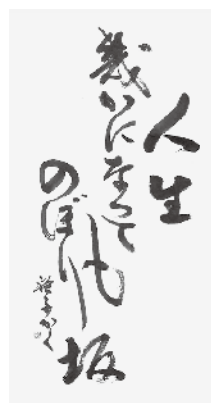
千葉 龍亭



袖山 真翠



日下 禮子



益子 陸架



山中 京翠



千葉 春苑



真栄城芳紅



川越 翠蓉



佐藤 蒼流



岡田 貴桜



小玉 幸桜



川又 月華



松浦 翠栄



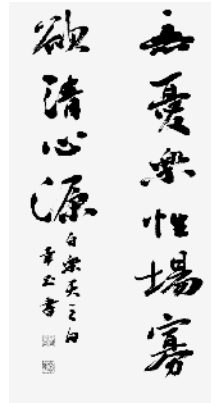
清水 誠喜



貴島 旭翠



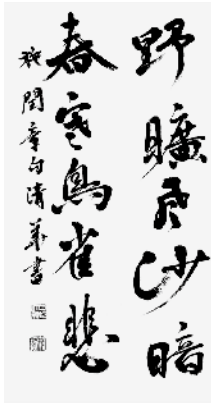
森田 幸玉



熊田 由翠



田村 清華



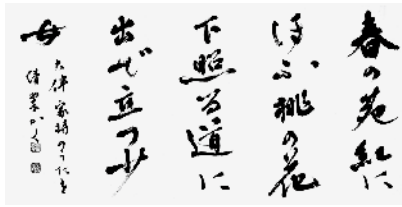
森 聖燦



根本 雪華



竹島 清翠



近藤 朋齋



平山 里彩



江幡 里奈



評議員作品

茨城県県知事賞

平野 由美



日立市文化協會會長賞

川口 純惠

心人夢見仙鶴出仙家
臥月朝餐夢也家
桐宮風掃葉人否鹿
街石歸隱不知何處
公歸雲懷仙

文華優秀賞

藤谷 天朗

桃花欲任春風月
催不待訪更漢時
人能無一箇在朝
花遠處歲人移改
今日揚塵處昔時
為大海

文華優秀賞

長山 真

祖父鳳李廣張扶屬國都尉丞右扶風除
棄食相金城回部都尉北地太守父瑋少
貴名州郡不奉早世是以位不削流君夏
猷好學甄撫哭緯無文不綜賢

文華優秀賞

土屋 紫陽

阿令聲猷而不滅其
辭曰至人官眇

文華優秀賞

澤畑 真華

先墓再離荼毒
追惟膝甚痛葉摧
絕痛費心肝痛皆
為我乃能即
將復未獲奔馳
初毒益深

文華優秀賞

吹野 姫扇

峽江山對鎖不覺有江來
船向羊腸山城臨馬穴開
燒金穿嶺急水碓撥雲回
客髮失秋白何煩一葉催

文華優秀賞

石井 風香

春風樓閣聞棋響
曉雨池塘見屐痕

會員作品

真弓書道會會長賞

天河ふさ子

ふさ子

真弓書道會會長賞

鈴木 楊芽

積氣不難極驚濤之地
奇龍無名森縣人
鬼詭氣都異國此橋
新河島與存積流
水可救涇海漢東門

敬仁文會賞
武藤 清華
都野鳥聲樂山低雁影遙
聖陰時更朝冷雨只飄蕭
沙蓬心失依漸寒酒易消紅
庭底曲吹沙更長橋

未遂平生意不
田擬種瓜夫
游嘉春鶴井
坐看陽晴世事
一場夢俗情三
月記興之大
不問閑盡幾
年三平
此語
本義吉

【評議員】 真弓書道會會長賞 岡野 春麗

蕭然者多
し新客の恨
非湯深く漸
つて春の錢
市舟に望み
釣賢に後わん
と欲す一竿の
春而一草り
煙 鄭松嶺の詩
清華吉

日立市文化協会会長賞 西野 侑里

真弓書道會會長賞
深谷 珠耀
南 嶺 德

白髪の宮人
杜秋の由中
年々客路中
宜の徳清世
何ぞ用いん深
へ事と思ふそ
天地由來秋
古作の八慣了
劉錫麟の詩
徳清吉

文華優秀賞 津守 悠子

文華優秀賞
松野 伯峰
至乎人倫禮式陰陽
律曆尤所留心

文華優秀賞
草山 尚美
今智はるるわたり

文華優秀賞
石原 光珠
雲夢夕陽愁裏名洞
庭春浪全來聲

文華優秀賞
荒川 公男
山影落江空

文華優秀賞
土屋 健美
禮器升堂天雨降澍
百姓訢和舉國

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

〔隷書〕 楊峴【臨封龍山頌摺扇】

辻 敬 齋 臨



◎釈文 義民脩繕故祠。遂采嘉石。造立觀闕。

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

〔楷書〕 李壁墓誌銘

辻 敬 齋 臨



◎釈文 文心慟。汲瑩紀襄。魯墳旌孔。鑄銘泉。
・読み 文心^{しんどう}慟^{きやうたい}す。汲瑩^{きやうたい}裏を紀し、魯墳^{ろふん}孔を旌^{せい}す。銘を泉^{せん}（陰に）鑄し、

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

〔行草書〕

蘇軾句

黒雲翻墨未遮山

白雨跳珠亂入船

辻

敬 齋 書

黒雲翻墨未遮山
白雨跳珠亂入船

◎ 釈文

黒雲墨を翻して未だ山を遮らず 白雨珠を跳らせて乱れて船に入る

〈筆・古義（三八五〇円）使用〉

・ 解

黒い雲はまるで墨をひっくり返したようだが、山々を覆い尽くすほどではなく、白くしぶく雨のしずくが船の中に入ってくる。
初夏の通り雨を詠った詩の一節。

〔かな条幅部課題〕

藤原興風のうた

日展準会員

岩井

秀樹先生書

かこゝちのうらさめ
とてふは我ひとりか

◎ 釈文

なにかそのなのたつことをしからむしりてまどふは我ひとりかは

・ 歌意

浮名の立つことなど、どうして惜しかろうか、浮名の立つことを知っていながら、色香に迷っているのは私ひとりだけであろうか。

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

規定部

①

九成宮醴泉銘

112

欧陽詢

辻

敬
齋
臨

雙
闕
貫
青



・釈文「雙闕。貫穿青」
◎読み 双闕を（渡る）。青（瑣を）貫穿し

— 師範から準初段まで —

●6月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

規定部

②

人萬物の靈

辻

敬齋書



条幅参考

◎ 釈文
人は万物の靈
人はいろいろな生き物の中で最も優秀であるということ。

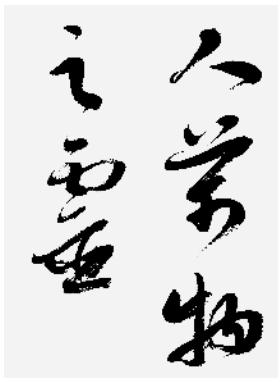
— 1 級から 10 級まで —

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の 9 種セット）ご希望の方は 350 円で御送りします。

● 6 月 25 日締切（事務所必着）

（注）下記の隷書、行書、草書を出品する場合は「文華随意」の付せんを使用してください。

草書



行書



隷書



随意部参考
（随意付箋使用）

真遷儀
越世

真遷儀越世

・釈文「真。遷儀越世。」
◎読み 真に(歸し)遷儀^{せんぎ}世を越えるに

●6月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を行書で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

迂敬齋臨

– 13 –

ペン字部

< 随意部 >



(手本は130%に拡大すると用紙の大きさになります)

< 規定部 >



(手本は128%に拡大すると用紙の大きさになります)

ペン字部(規定部)と(随意部)は同一段級となります。
作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

辻 いづみ書

●6月25日締切(事務所必着)

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

※検定用紙、規定はマス型、随意は3行型検定用紙を使用して下さい。検定用紙(50枚230円・送料別)は事務所までご請求下さい。

実用書部

細字部

〔行書〕王羲之 蘭亭序 娛シミツ。一信ニ可レ樂シム也。夫人之相与ニ 俯仰スルヤ 一世。或イハ取リ諸ヲ懷抱ニ。悟ニ言シ一室之内一。

娛信可樂也夫人之相與俯仰
一世或取諸懷抱悟言一室之内

◎読み

まこと たの 信に楽しむべきなり。そ 夫れ人の相与に一世に俯仰するや、或いは諸を懷抱に取り、一室の内に悟言し、

水無月芒種夏至

風が吹いて涼しくなると欲しく

という願いを込めて、風待月

ともいう。常夏月とも。

支部 段級 姓 号

辻 敬 齋 書

※用紙 半紙タテ書（普通半紙を使用のこと）

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

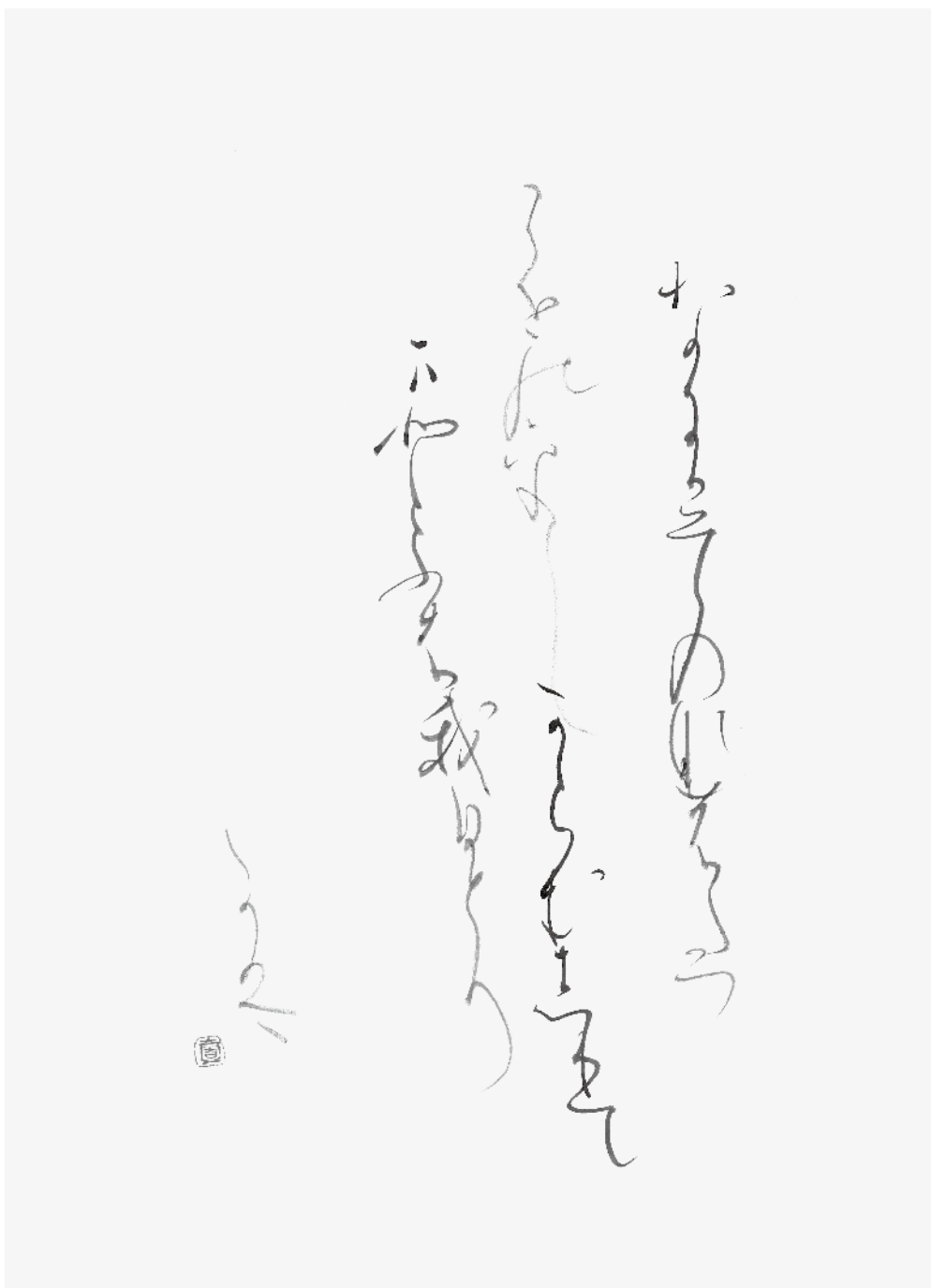
●6月25日締切(事務所必着)

半紙タテ ½

4、5日早目にお送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に
発表するか没書になります) 名前は、所属、段級、姓号又
は姓名を(行書で)書いて下さい。(号だけでは審査減点)

◎ 積文

・ 歌意
なにか^{尔可}その^{那農多}たつ^{能乎}ことの^可をし^{志利}から^{万登}むし^者りて^日まど^可ふは^盤我ひとりか
浮名の立つことなど、どうして惜しからうか、浮名の立つことを知っていながら、色香に迷っているのは私ひとりだけであ
ろうか。



● 6月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

かな部課題

◎ 釈文
すせそ たちつてと なにぬね

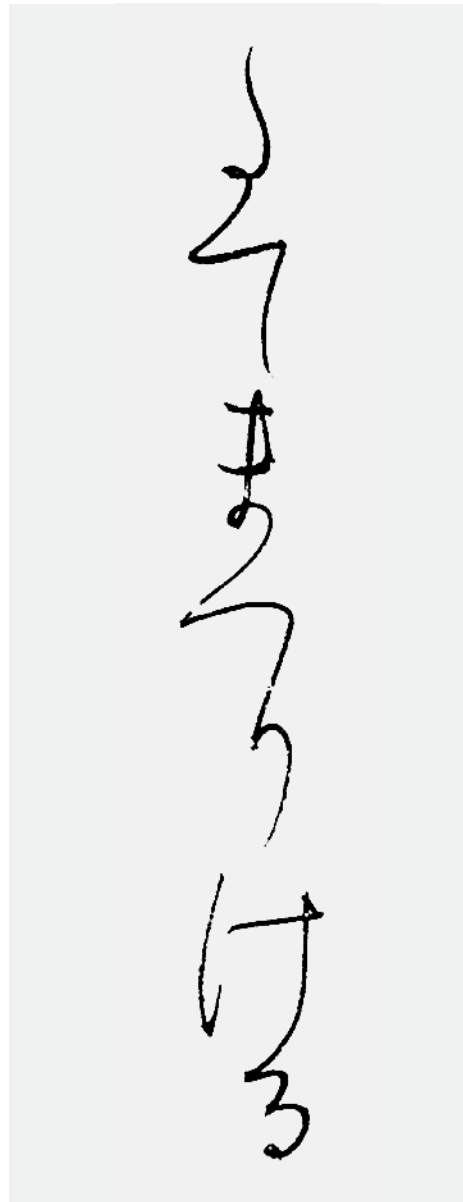


かな部
③

一級～十級まで一（半紙縦1/2）

辻 敬齋書

◎ 釈文
たてまつりける



かな部

② 高野切第三種

一三段から準初段まで一（半紙縦1/2）

● 6月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

かなの段級は漢字の段級とは異なりますのでご注意ください。

半紙作品の左側に所属、段級、姓号または姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

学 生 部 硬 筆 課 題

中学二・三年

中学一年

小学六年

小学五年

小学四年

かつて、伊澤清吉先生が「歴史の流れを把握して書く」により、さらに古典の名語の理解を深める「かてき」とおっしゃっていました。中国書道史略年表を掲載いたしますので、参考にして下さい。

外国の人に、駅への道を
尋ねられた。緊張したけれ
ど、英語で答えたよ。

保健委員会からのお知らせ
です。帰宅後や、食事の前
には手を洗いましょう。

雲が形を変えながら、西
の空から東の空へゆっくりと
動いている。

夜空の星を線でむすんで
みよう。いろいろな形に見
えてくるよ。

真っ白なヨットが追い風
を受けて、ぐんぐんと進んで
いきます。

辻 いづみ 書

●6月25日締切（事務所必着） 4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

※検定用紙を使用して下さい。検定用紙（50枚230円・送料別）は事務所までご請求下さい。

段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によっての昇段となります。

（手本は182%に拡大すると用紙の大きさになります）

年代	前1000	前500	前200	紀元前	紀元後	新	後漢	三國 (魏・呉・蜀)	西晋	東晋 五胡十六国
----	-------	------	------	-----	-----	---	----	---------------	----	-------------

学 生 部 硬 筆 課 題

幼 年

小学1年

小学2年

小学3年

よ	た								
ー	ー								

か	え								
と	の								
ま	だ								
し	に								
た	こ								
	と								

赤	ア								
や	ジ								
青	サ								
の	イ								
い	の								
ろ	え								
を	を								
ぬ	か								
っ	え								
た	え								

ま	左	お							
し	右	う							
ょ	を	だ							
う	を	ん							
	く	歩							
	見	道							
	て	で							
	わ	は							
	た								
	り								

辻 いづみ 書

作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願いします。

(手本は200%に拡大すると用紙の大きさになります)

●6月25日締切(事務所必着) 4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

※検定用紙を使用して下さい。検定用紙(50枚230円・送料別)は事務所までご請求下さい。

段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によっての昇段となります。

700	600	500	400
孫 盛	陳 北齊	梁 東魏	齊 宋
唐	隋	北 魏	張 趙
政 陽 詢			

中 学 1 年

中学 2 ・ 3 年



みどり かぜ
(緑 の 川 風)

辻 敬齋 書

小 学 5 年



ぶんめい りき
(文明の利器)

辻 敬齋 書

小 学 6 年



すい せい
(水 星)

岩田 紀風先生書



ぜん いん
(金 買)

岡田 貴桜先生書

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。
○段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○、㊦または昇格試験によつての昇段となります。
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。

●6月25日締切（事務所必着）
4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

1000	900	800
五 代 十 国		唐

6 月 学 生 部 課 題

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

小 学 3 年

小 学 4 年

※段級における「準」を書くことが難しい場合は、「じゅん」または「じ」として下さい。(例 じゅん五、じ五)
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。



(そ よ 風) 石井 春秀先生 書



(王 國) 小玉 幸桜先生書

幼 年

小 学 1 年

小 学 2 年



(い し) 辻 いづみ 書



(む し) 日比野妃扇先生 書



(し ず く) 川口 麗洋先生 書

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

●6月25日締切（事務所必着）

4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

		1900		1800		1700		1600		1500		1400		1300		1200		1100	
中華人民共和國 (台灣)	中華民國	吳昌碩	清	鄧石如		王鐸	明			元							宋		米芾

成家作品

嵐光浮動千峰濕
雨氣薰蒸五月寒

文徵明
翠珠書

文徵明
翠珠書

景山 翠珠

河漢落きて半成雲云より重なる瀟々仰ぐ観
れば勢の轉た雄なる時を裁造化功海風
吹きて断を寄以月照きて空を還る

榛澤 雅芳

月華星彩坐來收
色江聲暗結愁

栗山 谿邑

祝成時西園行樂
 每至省過寺後

石井 春秀

十數骨來輪必冲
形震蕩奔騰曰震

中山 白堂

黃曰能因濯古銅駝滿酌飲之日飲以則為子書

松浦 翠茱

此卷乃王右軍所書
意將空壁面傳名蹟
王羲之

今橋 知鄒

あまのうみをのぞく人よ
大なるあまのうみをのぞく

竹内 一

鶴響難留清音遶發天
心乃眷觀光玉闌

辻 いづみ

星涼い
櫓のふれあ
音かたね
まへんり
秋

榛澤 雅芳

察之灼
若夫

中村 暁雲

成四字
曰神清

石井 春秀

騷騷
騷騷
知郭

今橋 知鄴

[Handwritten signature]

竹内 一

或取諸懷抱

辻 いづみ

教範作品

而眺於星悠自原深因
煙還如條塞不次

日下 禮子

昭帖獲
之梁唐

日下 禮子

生月紋其中殊領略
莫異也苗盤抱

袖山 真翠

棄官續
遇禁

袖山 真翠

耐漸予天不憂破孟龍
可制顏國常同脩蘇影

山中 京翠

取夫司
躬先反

山中 京翠

靈樵神葉傳芳不已
漳海降祥萬生

福原 瑞堂

點弱露
以懷芳

福原 瑞堂

空有之精微體生
滅之機要詞茂道
曠尋之者不究其
源文顯義幽理之

赤嶺 心峰

檀柳半暝藏杉曉雪
樓舍笑綸番扇

益子 睦架

貝沼 春翠

貝沼 春翠

可覆
酒傳

益子 睦架

貝沼 春翠

貝沼 春翠

参与作品

参事作品

佐藤 祥玉

佐藤 祥玉

豊崎 峰彩

豊崎 峰彩

岡田 貴桜

岡田 貴桜

真栄城芳紅

真栄城芳紅

佐藤 祥玉

佐藤 祥玉

豊崎 峰彩

豊崎 峰彩

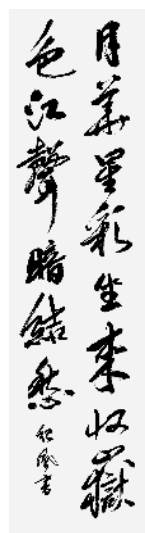
岡田 貴桜

岡田 貴桜

真栄城芳紅

真栄城芳紅

本會同人条幅・半紙参考作品



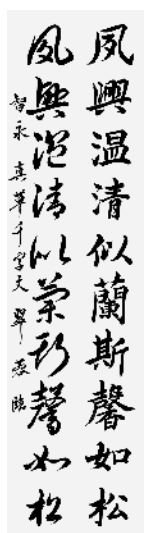
岩田 紀風



小古瀬修山



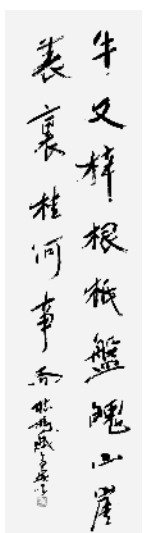
佐藤 蒼流



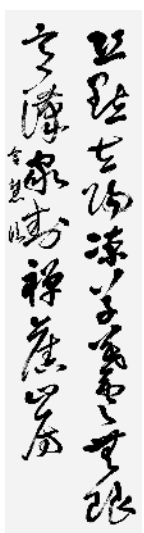
川越 翠蓉



大津 桂風



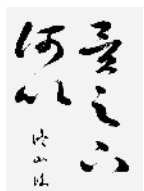
儀保 芳嶽



桑原 令慧



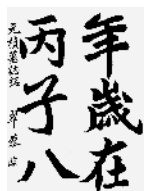
岩田 紀風



小古瀬修山



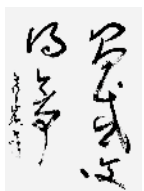
佐藤 蒼流



川越 翠蓉



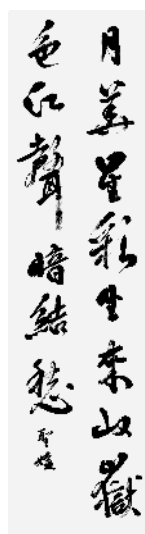
大津 桂風



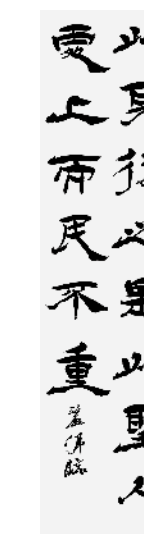
儀保 芳嶽



桑原 令慧



八文字聖媛



川口 麗洋



山田 安里



小林 瑞幸



岡山 素洞



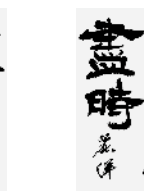
小玉 幸桜



八文字聖媛



渡部 翔風



川口 麗洋



山田 安里



小林 瑞幸



岡山 素洞

本會審查會員 条幅・半紙作品

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
森 聖燦

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
竹島 清翠

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
清水 誠喜

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
塩原 正裕

運途未充逸影已淪
骨滿青松魂返
大森 清香

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
富田 晶湖

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
渡部 雲泉

鳳
森 聖燦

仰德而
竹島 清翠

浮雲任
清水 誠喜

知通
塩原 正裕

野畔讓
大森 清香

和稷天
土田 美翠

都邑華
渡部 雲泉

以耳後之是以聖人
愛上而民不重
平山 里彩

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
根本 雪華

運途未充逸影已淪
骨滿青松魂返
鈴木 申弥

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
江幡 里奈

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
田村 清華

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
貴島 旭翠

月華星彩生來收獄
色江聲暗結愁
森田 幸玉

丹霄
平山 里彩

醴南注
根本 雪華

丹霄
鈴木 申弥

醴南注
江幡 里奈

丹霄
田村 清華

醴南注
森田 幸玉

丹霄
貴島 旭翠

同好群
平山 里彩

此時耕
根本 雪華

丹霄
鈴木 申弥

醴南注
江幡 里奈

丹霄
田村 清華

醴南注
森田 幸玉

丹霄
貴島 旭翠

特

選

《条幅部》

辻 敬齋 寸評

逸途未克遯影已淪
骨落青松魂迨追

以耳後之是以聖人
愛上而民不重楊青臨

以耳後之是以聖人
愛上而民不重秦義臨

月華星彩生來峭嶽
危以靜結 結東海書

以耳後之是以聖人
愛上而民不重廣玄臨

以耳後之是以聖人
愛上而民不重

以耳後之是以聖人
愛上而民不重

以耳後之是以聖人
愛上而民不重

(師範) 松村千恵子
文字を横広にして安定感を出し、更に小さめにしたことで六朝楷書を品格高く表現できた。

(師範) 鈴木 楊芽
動きのある伸びやかな線質が魅力。もう少し字形は扁平なところがあつてよい。

(師範) 岡野 春麗
落ち着いた運筆で隸法を忠実に守った字形。細かい所に配慮された秀作。

(師範) 坂上 東鴻
筆よく動き、字形の変化多様な作。墨量・潤滑の変化があると良いと思う。

(師範) 瀧澤 廣聖
楊岷の隸書のようにあまり極端に筆をひねらず素直に書かれている。字間・字形整い、うまく紙面に収めた。

(師範) 平野 由美
筆の潤滑、線の緩急、行の流れ、いづれも極めて優れる圧巻の作。日頃の努力の賜と見る。

(師範) 深田 翠美
行の振幅を抑え、流れを強調した。もう一息一行目には文字幅があつてよい。

(師範) 勝山 草苑
一行目の下部をやや左へ倒し、二行目の下部は右へやや倒した作。行の流れを前者と対比してみると面白い。

第865回 条幅部当選作品



(師範) 深谷 珠耀 (師範) 原 聖麗 (師範) 土屋 紫陽 (師範) 林 泰邦 (師範) 石井 風香 (師範) 黃 千優 (師範) 岩永 邑靜 (師範) 倉田 邑和 (師範) 藤浦 邑園



(師範) 澤畑 真華 (師範) 長谷川鳳声 (師範) 石岡 千泉 (師範) 永田 翠麗 (師範) 西岡 麗泉 (師範) 花輪 美翠 (師範) 林 慧苑 (師範) 小澤 谿遼 (師範) 深田 翠笑



(七段) 大内 芳泉 (八段) 神谷 武史 (八段) 武藤 清華 (師格) 鈴木真佐子 (師格) 比屋定輝子 (師範) 島尻 英子 (師範) 高島 清順 (師範) 宮里 瑞節 (師範) 三留 優季

第865回 条幅部当選作品

(準初) 村上 雄一	(初段) 安村 泰愷	(初段) 原田 厚子	(三段) 村岡 典子	(三段) 大蔵 貴子	(五段) 二村 泉華	(五段) 半村 啓子	(六段) 小倉 敦子	(七段) 佐藤 翠瑛

〈かな部〉

(七段) 野崎 優子	(八段) 中川 優子	(八段) 有岡 良子	(準師) 岡田 貴桜	(準師) 安藤 りん	(準師) 阿部 誠子	(師格) 島尻 英子	(師範) 岩田 紀風	(師範) 松村千恵子

(準初) 今若 佳美	(四段) 瀧澤 廣聖	(四段) 西村さつき	(五段) 坂本 由美	(五段) 皆越ゆかり	(六段) 袖山 真翠	(六段) 小倉 敦子	(七段) 本城 吉子	(七段) 縣 礼子

特

選

丹霄 醴南注
葵陵二段 吹野心優

丹霄 醴南注
白山 準師範 新井悟美

丹霄 醴南注
東東 師格 樽見正庫

丹霄 醴南注
香春 師範 坂上東鴻

卯月 清明 穀雨
稲を植える月であるという
意味の、植月が軽たという
説がある。卯の花が咲く時期。
香春 師範 坂上東鴻

知導 仰徳而
白山 準師範 新井悟美
八段 武藤 清華

知導 仰徳而
筆泉 師格 鈴木真佐子

知導 仰徳而
北斗 師範 岡野春麗

(二段)吹野 心優
(師範)坂上 東鴻

(準師)新井 悟美
(八段)武藤 清華

(師格)樽見 正庫
(師格)鈴木真佐子

(師範)坂上 東鴻
(師範)岡野 春麗

卯月 清明 穀雨
稲を植える月であるという
意味の、植月が軽たという
説がある。卯の花が咲く時期。
光峰 師格 田河勝景

吾之 河以
北斗 七段 小澤奈々海

吾之 河以
筆泉 師格 鈴木真佐子

吾之 河以
工部 八段 岩田眞仙

観宇宙之大俯瞰品類之盛
所以遊目騁懷足以極視聽之
多 師範 森田幸玉
観宇宙之大俯瞰品類之盛
所以遊目騁懷足以極視聽之
香春 師格 松本さよ

ゆるりるれ
ろわろをん
七段 小澤奈々海
(一級)小林葉子 (三段)當眞栄子

ゆるりるれ
ろわろをん
師格 鈴木真佐子
(七段)野崎 優子

ゆるりるれ
ろわろをん
師範 岩田 眞仙
(師範)松村千恵子

(師格)田河 勝景
(師格)松本さよ (師範)森田幸玉

(七段)小澤奈々海
(一級)小林葉子 (三段)當眞栄子

(師格)鈴木真佐子
(七段)野崎 優子

(師範)岩田 眞仙
(師範)松村千恵子

秀

作

〈規定部〉

一万會 師 川口 洋子 丹霄 醴南注	北斗 師 岡野 春麗 丹霄 醴南注	一乃會 師 西岡 麗泉 丹霄 醴南注	漢風 師 山内 泉心 筆泉 師 倉田 邑和 丹霄 醴南注	仁牛 師 鈴木 楊芽 筆泉 師 岩永 邑靜 丹霄 醴南注	葛花 師 林 泰健 北斗 師 深谷 珠燿 丹霄 醴南注
如扇 師範 杉村 万里子 聖心 八段 山崎 みな子 丹霄 醴南注	翠 八段 小塚 登志 丹霄 醴南注	入木 八段 溝口 祐翠 丹霄 醴南注	心八段 武藤 清華 丹霄 醴南注	聖心 筆師 大泉 文秀 丹霄 醴南注	筆承 師格 鈴木 真佐子 丹霄 醴南注
(師範) 川口 洋子 (師範) 杉村 万里子 (八段) 山崎 みな子	(師範) 岡野 春麗 (師範) 永田 翠麗 (八段) 小塚 登志	(師範) 西岡 麗泉 (師範) 石岡 千泉 (八段) 溝口 祐翠	(師範) 山内 泉心 (師範) 倉田 邑和 (八段) 武藤 清華	(師範) 鈴木 楊芽 (師範) 岩永 邑靜 (準師) 大泉 文秀	(師範) 林 泰健 (師範) 深谷 珠燿 (師格) 鈴木 真佐子
いづか 栗原 琉花 丹霄 醴南注	北斗 七段 山口 裕加 丹霄 醴南注	北斗 七段 小澤 奈々海 丹霄 醴南注	南部 八段 神谷 武史 白山 五段 西本 睦 丹霄 醴南注	心八段 白土 礼子 翠 五段 神谷 節子 丹霄 醴南注	北斗 八段 佐藤 晴美 いづか 鈴木 千智 丹霄 醴南注
文真 五段 二村 泉華 丹霄 醴南注	華音 五段 福田 隆代 丹霄 醴南注	廣明 五段 中山 美月 丹霄 醴南注	筑波 四段 久長 順子 丹霄 醴南注	北斗 四段 中村 恭代 丹霄 醴南注	奈良 準五下 和田 陽育 丹霄 醴南注
(七段) 栗原 琉花 (五段) 二村 泉華 (三段) 佐原 叶歩	(七段) 山口 裕加 (五段) 福田 盛山 (準四) 盛山 和花	(七段) 小澤 奈々海 (五段) 中山 美月 (準四) 澤 希実	(八段) 神谷 武史 (五段) 西本 睦 (四段) 久長 順子	(八段) 白土 礼子 (五段) 神谷 節子 (四段) 中村 恭代	(八段) 佐藤 晴美 (六段) 鈴木 千智 (準五) 下和田 陽育

秀

作

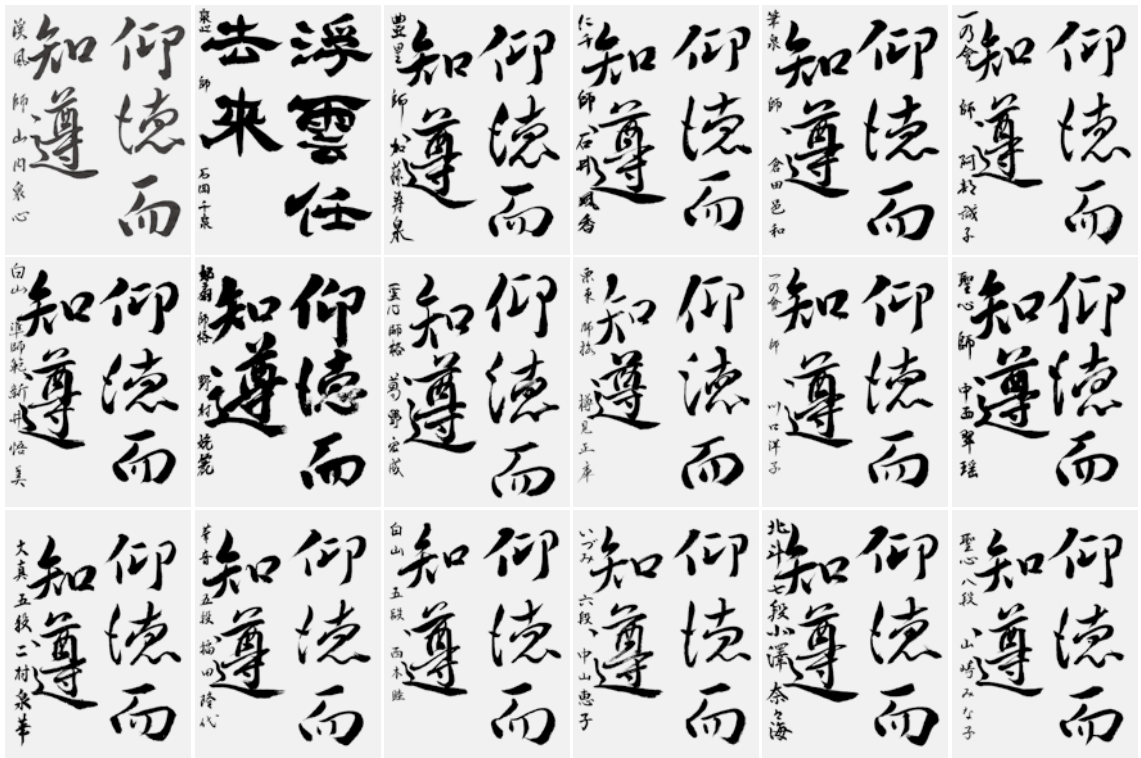
〈規定部〉

泰山 二 宇津木紗彩 丹霄 醴南注 米口 三 津三 鈴木玲子 丹霄 醴南注 長沢 初 高橋 道子 丹霄 醴南注 (二段)宇津木紗彩 (準二)大嶽 由美 (初段)青木 和子	泰山 二 宇津木紗彩 丹霄 醴南注 米口 三 津三 鈴木玲子 丹霄 醴南注 長沢 初 高橋 道子 丹霄 醴南注 (準三)鈴木 玲子 (二段)小川 襟花 (初段)高橋 道子	泰山 二 宇津木紗彩 丹霄 醴南注 米口 三 津三 鈴木玲子 丹霄 醴南注 長沢 初 高橋 道子 丹霄 醴南注 (準三)岡本 結愛 (二段)酒井喜美代 (初段)渡辺 文香	いづみ 佐々木陽由 丹霄 醴南注 聖心 二 長島 暁子 丹霄 醴南注 泰山 初 大畠 雛実 丹霄 醴南注 (三段)佐々木陽由 (二段)長島 暁子 (初段)大畠 雛美	いづみ 大金 瑠華 丹霄 醴南注 泰山 二 小橋 咲奈 丹霄 醴南注 泰山 初 稲山 彩音 丹霄 醴南注 (三段)大金 瑠華 (二段)小橋 咲奈 (初段)稲山 彩音	一万 三 段 中山 直子 丹霄 醴南注 泰山 二 萩沼 真央 丹霄 醴南注 泰山 初 高久 有愛 丹霄 醴南注 (三段)中山 直子 (二段)萩沼 真央 (初段)高久 有愛
狭 初 花山 結泰 丹霄 醴南注 仁牛 3 長友 節子 去來 浮雲任 川口 新 齋藤 純子 去來 浮雲任 (初段)花山 結泰 (2級)長友 節子 (新入)齋藤 純子	狭 初 花山 結泰 丹霄 醴南注 仁牛 3 長友 節子 去來 浮雲任 川口 新 齋藤 純子 去來 浮雲任 (初段)勝又 瑞姫 (1級)神山 尚枝 (新入)福原由美子	狭 初 木山 愛 丹霄 醴南注 小澤 由季 丹霄 醴南注 聖心 再入 藤巻 美海 去來 浮雲任 (初段)木山 愛 (準初)小澤 由季 (10級)藤巻 美海	いづみ 初 藤枝 則子 丹霄 醴南注 妃那 初 段 原田 厚子 丹霄 醴南注 廣明 10 鍵山 和美 去來 浮雲任 (初段)藤枝 則子 (初段)原田 厚子 (9級)鍵山 和美	いづみ 初 工藤 幹子 丹霄 醴南注 金 初 段 瀧口 浩子 丹霄 醴南注 聖心 十級 小堺 紀子 去來 浮雲任 (初段)工藤 幹子 (初段)瀧口 浩子 (8級)小堺 紀子	東海 初 親見 由希 丹霄 醴南注 幸久 初 磯田 恵美子 丹霄 醴南注 翔風 5 級 渡辺 華世子 去來 浮雲任 (初段)親見 由希 (初段)磯田 恵美子 (4級)渡辺 華世子

秀

作

〈随意部〉



(師範) 山内 泉心 (師範) 石岡 千泉 (師範) 加藤 寿泉 (師範) 石井 風香 (師範) 倉田 邑和 (師範) 阿部 誠子
(準師) 新井 悟美 (師格) 野村 婉麗 (師格) 葛野 宏成 (師格) 樽見 正庫 (師範) 川口 洋子 (師範) 中西 翠瑤
(五段) 二村 泉華 (五段) 福田 隆代 (五段) 西本 睦 (六段) 中山 恵子 (七段) 小澤 奈々海 (八段) 山崎 みな子



(三段) 伊藤 淳子 (三段) 佐原 叶步 (準四) 佐藤 京子 (四段) 中村 恭代 (準五) 下和田 陽育 (五段) 浅見 悦子
(初段) 稲山 彩音 (準二) 大森 夕愛 (二段) 宇津木 紗彩 (二段) 荻沼 真央 (準三) 岡本 結愛 (準三) 鈴木 玲子
(10級) 今安 聖代 (7級) 米塚 公子 (4級) 渡辺 華世子 (準初) 石川 由美子 (初段) 高橋 道子 (初段) 藤枝 則子

秀

作

〈臨書部〉



(師範)加藤 寿泉
(八段)山崎みな子
(準五)下和田陽育

(師範)松本 きよ
(八段)白土 礼子
(五段)中山 美月

(師範)深谷 珠耀
(準師)新井 悟美
(五段)福田 隆代

(師範)松村千恵子
(師格)樽見 正庫
(五段)西本 睦

(師範)岡野 春麗
(師範)鈴木 楊芽
(五段)二村 泉華

(師範)小澤 谿遼
(師範)山内 泉心
(六段)沢畑 悦子



(準三)鈴木 玲子
(準初)中村 伸行
(8級)小堺 紀子

(準三)寺門 琉菜
(初段)高橋 道子
(5級)岡田 明子

(三段)村岡 典子
(初段)高久 有愛
(4級)渡辺華世子

(三段)佐原 叶歩
(初段)青木 和子
(準初)大屋 白山

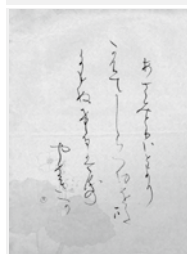
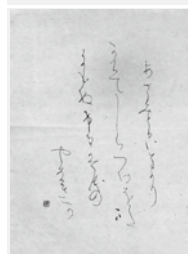
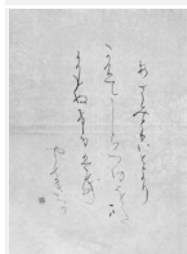
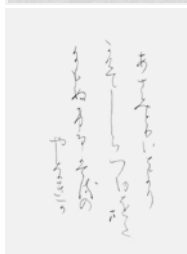
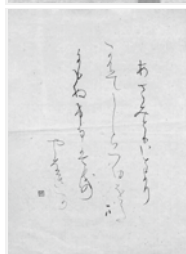
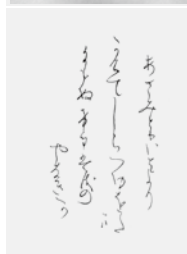
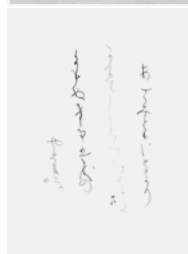
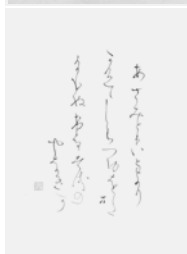
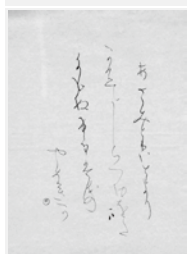
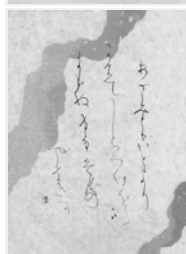
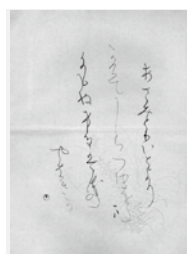
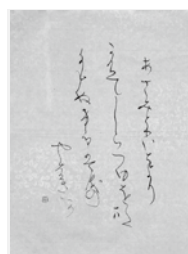
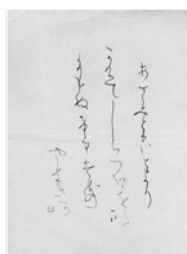
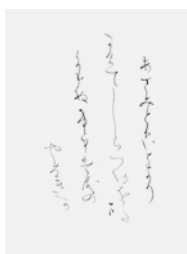
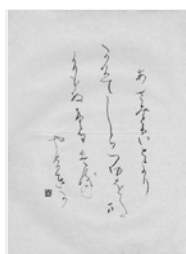
(準四)佐藤 京子
(準二)大森 夕愛
(準初)小澤 由季

(四段)中村 恭代
(二段)荻沼 真央
(準初)日下 早苗

秀

作

〈仮名部〉



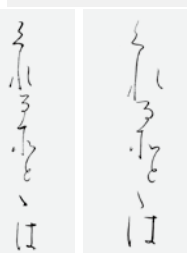
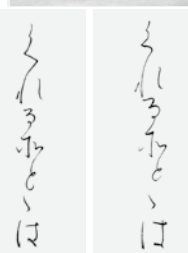
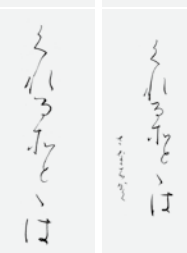
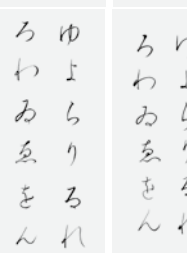
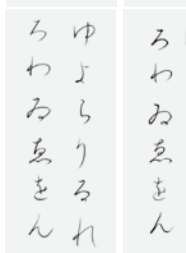
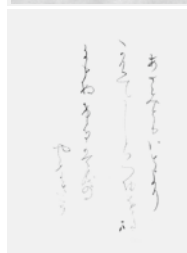
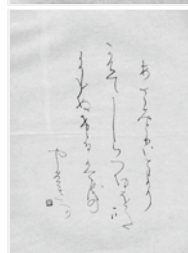
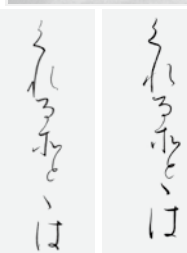
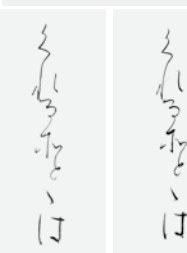
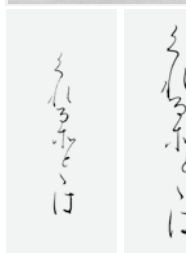
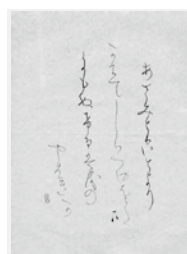
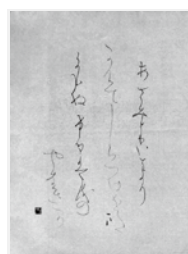
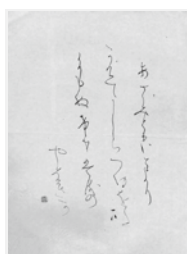
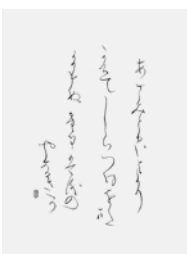
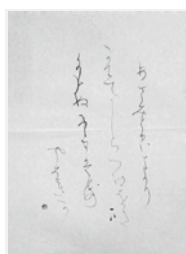
(師範) 深田 翠笑
(八段) 中川 優子
(五段) 能津 康子

(師範) 森 聖燦
(準師) 阿部 誠子
(六段) 草山 尚美

(師範) 平野 由美
(準師) 林 泰聖
(七段) 本城 吉子

(師範) 田中 明子
(準師) 安藤 りん
(七段) 縣 礼子

(師範) 遊佐 礼子
(師格) 岩田 靖子
(八段) 別府 円香



(四段) 武村 泰代
(初段) 篠崎みゆき
(新入) 藤谷天朗

(準五) 平山 里彩
(二段) 林 宗弘
(5級) 中山直子

(五段) 天河ふさ子
(三段) 白土礼子
(準初) 門司和恵

(五段) 坂本 由美
(準四) 藤原美也子
(初段) 金子絹代

(五段) 川口 洋子
(四段) 小林久美子
(初段) 岡野春麗

(初段) 中山恵子

(3級) 鈴木楊芽

(準初) 会田早苗

(初段) 緑川溪水

(初段) 中山恵子

秀

作

〈ペン字随意部〉

〈ペン字規定部〉

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
杉山 翠萌

(師格)
杉山 翠萌

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
田村 清華

(師範)
田村 清華

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
豊崎 峰彩

(師範)
豊崎 峰彩

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
岡田 貴桜

(師範)
岡田 貴桜

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
天津桂風

(師範)
天津 桂風

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
田河 勝景

(師範)
田河 勝景

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
武田 翠波

(師範)
武田 翠波

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
豊崎 峰彩

(師範)
豊崎 峰彩

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
岡田 貴桜

(師範)
岡田 貴桜

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
佐藤寿美江

(五段)
佐藤寿美江

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
八文字聖媛

(七段)
八文字聖媛

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
中山 恵子

(八段)
中山 恵子

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
奥田 朱麗

(準師)
奥田 朱麗

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
八文字聖媛

(七段)
八文字聖媛

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
中山 恵子

(八段)
中山 恵子

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
鈴木 楊芽

(準師)
鈴木 楊芽

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
杉山 翠萌

(師格)
杉山 翠萌

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
花輪 美翠

(師範)
花輪 美翠

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
津守 悠子

(三段)
津守 悠子

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
篠崎みゆき

(準四)
篠崎みゆき

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
中島 和奏

(四段)
中島 和奏

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
川口 洋子

(五段)
川口 洋子

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
篠崎みゆき

(準四)
篠崎みゆき

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
森 聖燦

(四段)
森 聖燦

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
澤 希実

(準五)
澤 希実

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
福田 隆代

(五段)
福田 隆代

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
鈴木 申弥

(七段)
鈴木 申弥

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
鈴木 理央

(初段)
鈴木 理央

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
小野 渚紗

(準二)
小野 渚紗

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
宮崎 結羽

(二段)
宮崎 結羽

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
熊田 由翠

(準三)
熊田 由翠

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
鈴木 理央

(初段)
鈴木 理央

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
戸辺 寧々

(準二)
戸辺 寧々

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
小西 梓

(二段)
小西 梓

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
西村 莉奈

(準三)
西村 莉奈

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
大村 夏澄

(三段)
大村 夏澄

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
青木 和子

(8級)
青木 和子

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
栗原 友香

(4級)
栗原 友香

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
長友 節子

(2級)
長友 節子

桜のつぼみがふくらみ始め、
開花がとてもし楽しみます。
園子を用意して待っています。
神谷 武史

(準初)
神谷 武史

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
鍵山 和美

(9級)
鍵山 和美

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
青木 和子

(8級)
青木 和子

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
米塚 公子

(2級)
米塚 公子

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
石川由美子

(準初)
石川由美子

春風紫殿を開き、
天楽珠楼に下る。
天楽珠楼に下る。
椎名 千梢

(準初)
椎名 千梢

特選

いづみ 四間根 怜那 文武両道 春光平安 羽新 篠原 遥香 早川 準初 金澤 紗耶 (四段) 関根 怜那 (準七級) 篠原 遥香 (初段) 金澤 紗耶	筑九 岡野 帆乃木 文武両道 春光平安 狭準三 二宮 桜 羽二級 竹内 みのり (九段) 岡野 帆乃木 (準三) 二宮 桜 (初段) 竹内 みのり	美玉 準特 北村 玲乃 文武両道 春光平安 幸三 松本 莞士 いづみ 二 平 莉子 (準特) 北村 玲乃 (三段) 松本 莞士 (準三) 平 莉子	狭準六 樽谷 ゆいな 希望の将来の 春光平安 英六 川上 あい 仁準六 高野 虹瑚 (準六) 樽谷 ゆいな (六段) 川上 あい (準六) 高野 虹瑚	いづみ 準 河見 蘭々 希望の将来の 春光平安 いづみ 準十 飛田 陽菜 広準七 渡辺 千歳 (準特) 河見 蘭々 (準十) 飛田 陽菜 (準七) 渡辺 千歳	筑波 特待 岡田 美咲 希望の将来の 春光平安 金十段 岡村 心菜 仁八 栗林 真緒 (特待) 岡田 美咲 (特待) 岡村 心菜 (八段) 栗林 真緒
---	---	---	---	---	--

早川 六 沼田 一花 左右 心がくち 仁準四 東 恵永 ゆづる (6級) 沼田 一花 (準4級) 東 恵永 (準6級) 森野 佑結	狭5 山下 莉子 左右 心がほし 白土 朝陽 いなた たけまおとほ (5級) 山下 莉子 (2級) 白土 朝陽 (準2級) 田山 朝陽	金2 岡部 陽菜 乃筑 左右 心がほし 渡辺 結月 じん すずき せきま (1級) 岡部 陽菜 乃筑 (1級) 渡辺 結月 (準1級) 鈴木 海咲	紀二 中屋 沙環 左右 心がいちか 山下 けい 本林 めい (二段) 中屋 沙環 (準初) 山下 けい (準5級) 森田 愛唯	いづみ 三 中村 聡美 左右 心がいちか 渡辺 桜 森6 岡田 りほ (準四) 中村 聡美 (二段) 渡辺 桜 (5級) 岡田 りほ	仁千 準五 倉本 菜依 左右 心がいちか 阿部 鼓太郎 いとう かり (準五) 倉本 菜依 (準三) 阿部 鼓太郎 (二段) 伊藤 朱里
---	---	---	---	--	--

第865回 当選作品

香春 半八 荒瀬井美 希望	幸進八 齋藤 晴 将来の 希望	いづみ準九 上岡晴春 将来の 希望	早川九段 佐川未隆 将来の 希望	淡筆十北 比嘉忠愛 将来の 希望	紀源特 朝田 彩空 将来の 希望	いづみ準七 山口細那 将来の 希望	本特 洋田 元 将来の 希望
山下 良子 佐々木 妙 文武	羽新 笠松 抽希 文武	いづみ準二 龜井 優奈 文武	羽一 坂大石 結香 文武	いづみ準六 諏佐 真斗 文武	全六 久地岡里奈 文武	狭達七 新井 梢 文武	幸進七 小柳 歩穂 文武
狭六 龍田 明徳香 文武	狭六 花山 約音 文武	金六段 鈴木 白米 文武	仁準 梅原 陽大 文武	紀源 七段 村上 不須 文武	いづみ七 島山 紗愛 文武	幸進 段 野上 慎花 文武	仁進 九士屋 文武
美全 幸八段 植村 莉子 春光	仁千進八 日吉 真備 春光	金八段 見城 心陽 文武	宝 白川 康 文武	羽一 坂 常野 孝枝 文武	ゆ 藤枝 愛菜 文武	金五段 瀧口 政音 文武	森進六 大塚 萌衣 文武
嘉安 飛植 春光	井菜心 美 瀬嶋明 希 田優香 紗 植竹 莉子 春光	上岡 川 龜鈴 優 鈴木 杏 見越 心 春光	佐川 石 大梅 原 白川 白 春光	比嘉 惠 諏村 上 菅野 芽 春光	村久 地 久島 山 藤枝 枝 春光	山口 井 新野 上 瀧口 口 春光	田柳 柳 澤土 屋 大窪 衣 春光
金準三 中島 栞聞 春光	羽二段 保坂 玲璃 春光	紀源準五 鈴宮 島陸人 春光	筑波 五 中田 晴文 春光	契六段 田嶋 迪実 春光	紀準六 大保 華 春光	いづみ準七 上岡 和成 春光	早川七段 佐川 琴瞳 春光
いづみ 小沼 相生 春光	若草準三 澤田 桜香 春光	羽新 仁藤 菜々 春光	緑二 平塚 将真 春光	仁千準一 小林 由莉 春光	いづみ 高橋 悠愛 春光	山下初段 西野 想乃香 春光	金初段 龍勢 悠花 春光
金10 若賀 結香 春光	早川九段 嵐山 美結 春光	若草準七 木村 はな 春光	清風準六 廣瀬 優希 春光	ゆ 新島 あかり 春光	早川六 蛭田 結花 春光	早川準五 山縣 世奈 春光	緑準四 川和 泰生 春光
幸三 長岡 千華 平安	仁千準四 佐藤 稟 平安	山下 三段 橋山 和奏 平安	木本四 鈴木 遥奈 平安	美王七 段 塚越 蘭 平安	森五 宮島 あおば 平安	紀準六 増田 菜子 平安	いづみ準八 笠原 原禪 平安
中島 沼 芳賀 岡 平安	関生 香 椿樹 千 平安	坂嶋 山 保澤 昆 平安	玲桜 美 璃香 結 平安	田塚 廣 中平 鈴 平安	文真 奈 晴将 優 平安	成香 奈 和乃 世 平安	川勢 川 佐能 原 平安
島沼 芳 賀岡 長 平安	関生 香 椿樹 千 平安	坂嶋 山 保澤 昆 平安	玲桜 美 璃香 結 平安	田塚 廣 中平 鈴 平安	文真 奈 晴将 優 平安	成香 奈 和乃 世 平安	川勢 川 佐能 原 平安

第865回 当選作品

[illegible]

第865回 当選作品

いちが いなだ 長はりまな	いちが いなか ちかあまで	いちが あべがえ	いちが 大たかふつか	いちが 市川 羽	いちが 小野 琴	いちが 小野 琴	いちが 小野 琴
いちが 金 ほろい	いちが いなだ はせ川ま子	いちが 山 石	いちが 考 山あ	いちが ほり井 え	いちが み み	いちが い 村太一	いちが じん いそりな
いちが あ お	いちが 山下 いのほ	いちが 金 あ	いちが こ りゅうめい	いちが い え	いちが 大 あ	いちが い あ	いちが 松本 佳吾
ほし い はにりう	ほし い なたとみたろうし	ほし せい うん	ほし じ いあさひより	いちが い な 小林りん	いちが い な な	いちが い な な	いちが い な な

長堀奈 真八斗 阿部花依 大高楓 川市井 結翔 谷内 心一 小野 琴 本橋 奈
細貝永 怜川真 石川寛 福山あ 堀井藤 紗英 宮大越 結ほ 飯村 太 磯松 風
武尾 栞 金谷 良 麻場ひ 小 林 小 中 瑛 青 一 木 佳 吾
白田 凛 安 音 朱 粟 島 瑛 侑 来 つ ぎ

ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な
ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な	ほし い な
くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な
くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な	くち い な

宗像 結 茉 田 嶋 祥 子 高 橋 な せ 高 松 碧 一 藤 佐 真 飯 島 凜 翔 井 口 莞 朗 太 櫻 井 優 莉 奈
多園 風 子 原 慶 陽 益 吹 渡 邊 中 秋 太 彩 野 持 未 莉 琴
部 令 奈 山 斗 李 生 入 夢 弥 野 乃 愛 田 野 健 介 池 星 吏 佐 藤 南 ず



硬筆部當選作品

校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。
筑波特待 中二 岡田美咲	狭 中二 本橋愛南美	いづみ 十段 三年 杉山香乃	妃扇 中二 小原慶浩	金 準三 中二 上島桜羽	山下 準四 中二 天木雪姫	和心 準初 中一 大栗芽生	いづみ 二年 河尾蘭々
校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。
少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け
筑波十段 中一 岡野帆乃木	全六 中二 久地岡里奈	清風 五段 中三 奥山紗羅	狭 三段 中二 佐久間雪乃	いづみ 準初 中二 亀井川優奈	山下 準三 中二 鈴木杏菜	和心 準初 中一 村律	孝 準七 中一 中村律
校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。
少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け
いづみ 三段 中一 武知諒樹	仁千 準九 中一 小野瑚桃	筆音 準八 中一 藤枝愛菜	如扇 中一 村上不矩	金 二段 中一 鈴木杏菜	小林 五 中一 大窪萌衣那	いづみ 準三 中一 渡辺詩亜	山下 四段 中一 浜田あやめ
新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。
新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。
紀 準七 六 大保華	金 五段 六年 根本莉愛	山下 準四 六年 小林聖奈	妃扇 準四 六 柴田歩果	築波 準四 六年 中田晴丈	和心 準初 六 竹内菜桜	早川 準三 六 大高晴乃	美玉 準六 六年 樋口珠莉
校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。	校庭の桜が、今を盛りと咲いています。
少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け	少年よ大志を抱け
いづみ 三段 中一 遠藤由唯	ゆ 準四 中一 藤枝愛菜	仁千 準十 六年 水口心晴	金 九段 六 岡村心菜	和心 準九 六 鈴木咲那	仁千 八段 六年 尾鷲茉友加	いづみ 七 五 田中愛莉	美玉 準六 六年 樋口珠莉
新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。
新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。	新学年が始まる。だれと同じクラスになるのかな。
紀 準七 六 大保華	金 五段 六年 根本莉愛	山下 準四 六年 小林聖奈	妃扇 準四 六 柴田歩果	築波 準四 六年 中田晴丈	和心 準初 六 竹内菜桜	早川 準三 六 大高晴乃	美玉 準六 六年 樋口珠莉

硬筆部当選作品

新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 狭 準二 六年 二宮 桜	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 若草 準一 六 益子 咲菜	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 山下 準二 六 立原 瑠人	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 清風 三 六 瀧野 旬太朗	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 狭 三 級 六年 齋藤 憲吾	新学期が始まる。だれと同じクラスになるのかな。 若草 準四 六 澤島 桜香	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 仁千 準八 五年 東林 真緒	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 金 七 段 五 倉澤 想乃
おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 和心 次 段 五 森 栄香	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 山本 準六 五 渡辺 千歳	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 妃扇 五 段 五 佐藤 美穂	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 紀 準六 五 増田 栞子	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 仁 四 段 五年 中島 圭都	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 木林 準四 五 宮島 あおは	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 妃扇 五 段 五年 寺西 葵	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 川口 四 段 五 鈴木 舞帆
おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 仁千 準四 五 佐藤 稟	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 山下 準二 五 三村 歩夢	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 山本 準六 五 井上 実咲	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 幸 初 五 長岡 千隼	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 清風 準一 五 谷穂 乃華	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 若草 準一 五 萩野 谷 史優	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 仁千 準三 五年 磯 帆夏	おはよう、という元気な声が、教室にひびきます。 金 七 段 五 磯 帆夏
新しいノートに、自分の名前を書いた。 木林 四 五 岡田 華歩	新しいノートに、自分の名前を書いた。 山本 準六 五 白川 暖	新しいノートに、自分の名前を書いた。 いた 四年 青木 愛来	新しいノートに、自分の名前を書いた。 いみ 準四 四 中村 聡美	新しいノートに、自分の名前を書いた。 仁千 三 段 四 飯田 芽咲	新しいノートに、自分の名前を書いた。 仁千 準二 四年 永谷 結花	新しいノートに、自分の名前を書いた。 金 準初 四年 岡部 陽菜乃	新しいノートに、自分の名前を書いた。 金 七 段 四年 沢田 ひな
新しいノートに、自分の名前を書いた。 仁千 二 四 佐藤 葵	新しいノートに、自分の名前を書いた。 清風 三 四 瀧野 なな子	新しいノートに、自分の名前を書いた。 仁千 五 四年 亀井 ひまり	新しいノートに、自分の名前を書いた。 清風 五 四 鈴木 喬五	新しいノートに、自分の名前を書いた。 和心 準五 四 鴨志田 蒼惟	新しいノートに、自分の名前を書いた。 妃扇 六 四年 間宮 大朗	新しいノートに、自分の名前を書いた。 山本 準六 四 布川 陽彩	新しいノートに、自分の名前を書いた。 いた 四 入江 和香

硬筆部當選作品

仁千
津初
三年
酒井
麻
瑚

金	
17.06.25	
17.06.25	
三年	
ね本	
ゆい	

姓	木林				
名	6				
年	二年				
月	岡				
日	田				
時	り				
分	ほ				

あしん
いぬ
ア
一
た
は
し
な
な
に

はな
し
よう
つ
しの
の
ん

第八六五回競書成績

二〇二六年
令和八年
六月八号

○ 一階級昇格
● 一階級昇格
△ 課題違
□ サイズ違い

①かな部、ペン字部、実用書部、細字部の段級位は規定部とは別です。
②学生の賞状を廃止します。太字は写真版掲載。太字でも昇級しないものは、一般部、学生部ともに有段者です。ただし、学生部の有段者で○・●のものは、一階級昇格とします。
③半紙部の落款に所属、段級、姓(名)を記入しないと、写真は写真版から除外、付箋(出品券)のはつけない作品、審査後到着の作品等々は審査なく、後方に名前だけ掲載されます。

成家作品

条幅

成家

半紙

成家

教範作品

条幅

教範

半紙

教範

参与参事作品

条幅

半紙

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

半紙

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

条幅部

条幅部

条幅部

条幅部

条幅部

条幅部

条幅部

条幅部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

かな部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

規定部

[illegible]

「落款について 10」

印の押し方

②

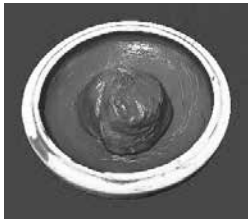
日展会員 岩村節廬 先生

印泥は辰砂しんしゃと呼ばれる硫化水銀りゅうかすいぎんとヒマシ油、そしてヨモギの葉の繊維せんいを合わせて練ねって作られます。色も赤が強いものから朱色まで色々あります。市販のものの中には柔らかすぎてベトベトして使いづらいものがありますから、注意しましょう。私のおすすめは「大観印泥たいかん」の箭鏃せんぞく、「耘萍石泉印泥うんぴょうせきせん」の箭鏃せんぞくです。

まず買ってきたら、付属のヘラで団子状にします。そして使わないときにはほこりが入らないように必ずふたをすること。腐ったりカビが生えたりすることもあるので、冷暗所で保管すること。特に夏は熱中症になるような高温の室内には置かないことが大切です。

次に油分が浮き上がり、成分が分離する傾向がありますので、使ったら団子状にしておくことが大切です。良質の印泥でも、手入れをしないと傷いたんでしまいます。腐った印泥ではダメになってムラのある不鮮明な印影となってしまういます。

買ったばかりのものや気温の上がる夏場は、柔らかすぎベトベトするので、使う前に冷蔵庫の野菜室などで冷やしておきます。逆に冬は固くなり、つきが悪くなるので、こたつの中やホットカーペットの上などで少し暖めたりして使います。このとき印泥だけではなく印材あたらも一緒に暖めておくことが大切です。



使い終わったら団子状にしておきましょう

教室のご案内 (辻敬齋會長指導)

◆水戸本部稽古

- ・ 6月7日(日) 16時～
- ・ 6月28日(日) 15時～
- ・ 7月5日(日) 9時30分～
- ・ 7月19日(日) 15時～

◆日立稽古

- ・ 6月6日(土) 16時～
- ・ 6月27日(土) 16時～
- ・ 7月18日(土) 16時～

◆国分寺稽古

未定

※日時は都合により変更
する場合があります。

新規参加者募集中です。見学も歓迎いたします。TEL (090) 1426 - 5028 〈敬齋〉

成績発表
(昇格者のみ発表・順不同)

– 52 –

令和八年度前期昇格試験優秀作品【一般部】（順不同）

一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差

西野 侑里 下和田陽育 佐原 叶歩 西山 海羅 佐藤 晴美 武藤 清華 川口 純恵 新井 悟美 小澤奈々海

一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差
 一夕輕雷落萬絲霽
 光浮瓦碧參差

佐々木陽由 石本 健翔 久保田大貴 土田美知子 西本 睦 福田 隆代 半村 啓子 中村 恭代 津守 悠子

山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁
 山晴花更繁

中島 綺葉 渡辺 文香 金子 泰華 会沢 春毅 高橋 道子 荻沼 真央 岡本 結愛 寺門 琉葉 中島 和奏

令和八年度前期昇格試験優秀作品【一般部】（順不同）

[illegible]

令和八年度前期昇格試験優秀作品【学生部】（順不同）

金澤特 高島 桜帆 将来の 希望 いづみ 準特 佐々木 柊奈 いづみ 岡崎 ゆめか 高島 桜帆 佐々木 柊奈 岡崎 ゆめか	幸栄 準特 宮下 梨花 将来の 希望 いづみ 準特 山口 留那 いづみ 準特 小林 杏実 宮下 梨花 山口 留那 小林 杏実	緑 準特 仁田 創太 将来の 希望 いづみ 準特 註司 有輝 仁田 創太 註司 有輝 仁田 創太 註司 有輝	狭 準特 本橋 愛南 美清風 将来の 希望 いづみ 準特 高橋 佳子 美至 準特 北村 玲乃 本橋 愛南 高橋 佳子 北村 玲乃	妃扇 準特 特生 小原 慶浩 将来の 希望 山下 準特 村田 彩空 金澤特 遠藤 里奈 小原 慶浩 村田 彩空 遠藤 里奈	妃扇 準特 特生 坂の 達翔 将来の 希望 いづみ 準特 河尾 蘭々 坂の 達翔 河尾 蘭々
早川十 段吉本 慶月 ぶん丸 将来の 希望 いづみ 四達 藤由唯 吉本 上岡 晴香 遠藤 藤由唯	孝十 段中 村律 将来の 希望 いづみ 閑根 伶那 村律 大森 友乃 閑根 伶那	紀十 留田 弘沙 将来の 希望 いづみ 大久保 莉真 留田 弘沙 大久保 莉真	広準特 澤田 地 将来の 希望 いづみ 藤枝 愛菜 澤田 地 藤枝 愛菜	和心 準特 大倉 希生 仁十 将来の 希望 いづみ 筑九 岡野 帆乃木 大倉 希生 筑九 岡野 帆乃木	清風 準特 村田 梨音 将来の 希望 いづみ 潮田 麻那 村田 梨音 潮田 麻那
吉本 上岡 遠藤 優月 晴香 由唯	中村 大森 閑根 律友 乃 伶那	富田 村田 大久保 莉真 弥沙 海碧 莉真	旭 菜心 美愛 菜 澤田 嘉瀬 井 藤枝	大楽 植野 岡野 帆乃木 芽生 り 乃 禾	琴音 夏実 麻耶 村戸 寺村 瀬田

令和八年度前期昇格試験優秀作品【学生部】（順不同）

紀準 大保華 春光 春光 平安	仁千進 八尾鷺菜友加 春光 春光 平安	幸三 松本莞士 春光 春光 春光	美全 準八段 植竹莉子 春光 春光 春光	狹準 三二宮桜 春光 春光 春光	いづみ 渡辺詩重 文道 春光 春光
いづみ 赤津和真 いづみ準八 箭原杏音	ゆ 金沢妃奈乃 いづみ二 平莉子	和心準 三松下梨花 いづみ一 亀卦川優月	英準 七安悠月 いづみ五 渡辺綾乃	ゆ 佐藤遙 いづみ準七 古岡彩羽	金十段 岡村心菜 いづみ 齊藤未紘
大保華 赤津和真 箭原杏音	尾鷺菜友加 金沢妃奈乃 平莉子	松本莞士 松下梨花 亀卦川優月	植竹莉子 安悠月 渡辺綾乃	二宮桜 佐藤遙 古岡彩羽	渡辺詩重 岡村心菜 齊藤未紘
早川準 六段 蛭田直彩	笠筆初 三原白葵 左右 左右	ゆ 真船由妃 平安 平安	筑波準 八山田陽葵 平安 平安	早川準 六段 大高彩葉 平安 平安	仁八 栗林真緒 平安 平安
いなか 阿部鼓太郎 け心が ぼし	いなか 中ね光り いちが くち	ゆ 野村紗雪 け心が くち	仁準 三宮山桂太 け心が いちが	幸二 劉華志 左右 左右	いなか 主月日咲 左右 左右
こうへ 中山しうた	いづみ ゆい くち	はや 一ほんじょうり くち	いとう あり いちが	木森 六岡田りほ いちが	じんじ ほりみさえ いちが
蛭田真彩 阿部鼓太郎 中山翔太	三原葵 根梨由 平衣	真船船 野村本 城諒真	山田陽 宮崎稜 伊朱里	大高彩 劉華患 岡田梨歩	栗林真 青木日 堀井紗英

茨城県美術展覧会〈作品研究会〉

日時・会場

- 《添削指導》 ① 6月27日（土）15時～ 日立市河原子交流センター
② 7月18日（土）15時～ 日立市河原子交流センター
③ 8月9日（日）9時30分～ 水戸本部教場

《選別・作品〆切》

- ④ 8月22日（土）15時～ 日立市河原子交流センター

※日時変更の場合、文華誌にてお知らせいたします。

指 導 辻 敬齋（真弓書道會會長）

参加費 各回 3,000 円

※水戸・日立教場に毎月参加している方は各回 2,000 円。

※①②③に全て参加された方は④無料。

※当日の手本揮毫は原則いたしません。手本を請求される方は、返信用封筒と所定の手本料を添えて、早めに申し込んで下さい。

〒310-0015 水戸市宮町1-9-8-1208 辻 敬齋（電話 090-1426-5028）

令和八年度 前期硬筆昇格試験 追加合格者

中3年	【準特待】	紀風	村田	彩空	中1年	【準十段】	真翠	芦間	莉々奈
小3年	【準初段】	真翠	芦間	紗奈	小3年	【準2級】	美玉	北村	湊都
小3年	【準2級】	美玉	磯	ほの珂	小3年	【準2級】	美玉	柳	侑駕

文華誌発送方法（有料）のご案内

土・日・祝日のDM便配送がなくなり、配送時間が相当かかっています。発送から配達まで2週間かかる場合もあります。

早めの配達をご希望の方は、レターパック（実費）を事務局に依頼してご利用下さい。

令和八年度細字部昇格試験作品募集要項

度人經 太上洞玄靈寶無量

希有世尊如來善護念諸
菩薩善付囑諸菩薩世尊
善男子善女人發阿耨多
羅三藐三菩提心應云何
住云何降伏其心佛言
是日也天朗氣清

課題① 臨書
(半紙タテ)

◎ 釈文 希有世尊。如來善護念諸菩薩。善付囑諸菩薩。世尊。善男子。善女人。發阿耨多羅三藐三菩提心。應云何住云何降伏其心。佛言。

王羲之 蘭亭序

列坐其次雖無絲竹管弦之
盛一觴一詠足以暢叙幽情
是日也天朗氣清

課題② 臨書
(半紙タテ 1/2 切)

◎ 釈文 列_ニ坐_ス其_ニ次_ニ。雖_モ無_シ糸竹管弦之盛_一。一觴一詠_一。亦_モ足_ル以_テ暢_ス叙_ス幽情_一。是_レ日也。天朗氣清_一。

王羲之 蘭亭序

列坐其次雖無絲竹管弦之
盛一觴一詠

課題③ 臨書
(半紙タテ 1/2 切)

◎ 釈文 列_ニ坐_ス其_ニ次_ニ。雖_モ無_シ糸竹管弦之盛_一。一觴一詠_一。

課題	課題	試験資格	試験料
師範試験	①②の二点提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) ①は楷書、②は行書で揮毫	五段以上	五、五〇〇円
五段試験	①と③の二点提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) ①は楷書、③は行書で揮毫	三段以上	四、四〇〇円
三段試験	②一点のみ提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) 行書で揮毫	初段以上	三、三〇〇円
初段試験	③一点のみ提出のこと 所属、段位位、姓名(号) 行書で揮毫	新入以上	二、七五〇円

送り先

真弓書道會事務所

〒310-0015 水戸市宮町一〇九八一二〇八

作品締切

令和八年八月三十日(事務所必着)

発表

令和八年十月号 文華誌上

受験料

出品料は極力現金書留で納入のこと。振替を使用されるときは領収証かそのコピーを作品と同封のこと。出品メ切までに出品料が納入されていないときは審査から除外されます。

付せん

二点以上の場合①②の順に、テープでタテに継いで左下部に出品票を貼付して下さい。付せんは現段級、氏名(号)を記入の上、必ず昇格試験用の付せんを貼付のこと。

その他

課題②③は半紙をタテ1/2切り

◆手本希望者は〒310-0015 水戸市宮町一〇九八一二〇八まで

師範・五段試験(一、〇〇〇円) 返信用封筒を添えて

三段・初段試験(五〇〇円) お申し込み下さい。

※半紙に合わせたコピー・支部姓号肉筆

富士山頂

中学1年

仏教の
伝来

中学2・3年

美花多
映竹

自 運（1級以下）

瑣縈帶
紫房

九成宮醴泉銘（師範～準初）

長く

小学3年

山道

小学4年

夏空

小学5年

野球

小学6年

たつ

幼 年

はち

小学1年

もこど

小学2年

ふねみ

幼 年

さすにたべました

小学1年

で、空のきれいなところ
ほしを見ました

小学2年

あらいと、うがいをし
ました

小学3年

電車とバスを乗りついで、
おじさんの家へ遊びに行き
ました

小学4年

今日の給食は、夏野菜を
使ったカレーです。とても
楽しみです。

小学5年

もしもタイムマシンがあ
れば、平安時代の書の名人
に会ってみたい。

小学6年

梅雨が明けました。夏の
太陽が照りつけ、気温がぐ
んと上がります。

中学1年

健康を維持するための大
切な要素の一つに、十分な
睡眠が挙げられます。

中学2・3年

西冷印社第11回篆刻芸術評展

辻
敬齋



衛貞晉鐘

9 × 7

作品サイズ縦×横 (cm)

事務所へ作品送付の際は必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。

競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。

また、前納による誌代納入にご協力の程をお願いいたします。

発行所 真弓書道會事務所

発行者 辻 敬 齋

略歴

中国西冷印社 名誉社員

(社)日展 準会員

《改組新第7回・第11回日展特選》

読賣書法会 常任理事

《読売準大賞2回》

謙慎書道会 常任理事

全日本篆刻連盟 副事務局長

北斗文會 副理事長

茨城書道美術振興会 副理事長

筑波大学大学院芸術研究科修了

大東文化大学文学部卒業

《書道部幹事長》

〒310 0015 茨城県水戸市宮町一九八・二〇八

TEL 〇九〇・一四二六・五〇二八

FAX 〇二九・二九七・七四六

ホームページ

mayumishodokai.wixsite.com/site/blank



氏 名